

クレジット:

UTokyo Online Education 東京大学朝日講座 2020 佐倉 統

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限って、特に記載のない限り、クリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下で利用することができます。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



なぜ最先端の科学技術は、ときに不安を引き起こすのか？

佐倉 統（東京大学大学院情報学環／理化学研究所革新知能統合研究センター）

I. フランケンシュタイン・コンプレックス

- ・ by アイザック・アシモフ
- ・ 先端技術へのいいしれぬ不安～歴史的に無数の事例あり
- ・ 刷り込みの問題？

II. 科学的知識はそもそも人に優しくない

- ・ 3大科学革命～地動説（コペルニクス）、進化論（ダーウィン）、無意識（フロイト）
→科学は人を中心から追いやってきた→科学はそもそも人に優しくない？
- ・ なぜ科学は人間の直観を超える知識を生成できるのか？
→科学的知識の特徴＝仮説演繹法＋専門家集団によるピアレビュー
→日常的知識と科学的知識のギャップ

III. 科学的知識を使いこなすには

- ・ 「知識は力なり」 vs 「状況に埋め込まれた知識」
- ・ 天動説と地動説の使いわけ
- ・ 歴史的に見れば科学（＋技術）と日常的知識は結構近いところにあった
- ・ 科学技術と社会の間に《縁側》を！
- ・ 日本の衣食住のレベルの高さ→日常的科学の可能性

参考文献

神里達博『リスクの正体』岩波書店（新書）、2020

佐倉統『科学とはなにか』講談社（ブルーバックス）、2020

メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』角川書店（文庫）ほか、原著 1818